

「イノベーション立国」に向けた今後の知財政策・制度のあり方【概要】

2010年3月16日
(社)日本経済団体連合会

基本認識

◎わが国の持続的発展・国民生活向上のカギはイノベーション



イノベーションによって成長・発展し、国民がその成果を享受する「イノベーション立国」へ

イノベーション・ハブ構想

＜イノベーション・ハブ：企業を中心とするイノベーションの主役が集う基盤＞

- (1) 産業界のイニシアティブによる構想
→ 民間主体の提案を政策に反映。官民が協働する新しい「場」構築の検討も。
- (2) 政府による総合的イノベーション政策の推進
→ 指令塔の下、入口から出口まで一貫性ある総合政策を立案、実行
- (3) 内外の知を惹きつける誘因力 (gravity) の発揮
→ 日本の優位性を活かしつつ、国内外の英知を結集して国内外の課題解決に貢献

企業等関係組織が持つイノベーションの潜在力の発揮が可能に
グローバルなレベルで多様な知の交わりへと進化

知財政策・制度

◎「総合的イノベーション政策」の下、多様な政策・施策を戦略的かつ有機的に展開すべき

◎企業の潜在力を活かすインフラとしての知財政策・制度については、守るべき権利をしっかりと守ることを基本としつつ

- (1) 自らの選択によって「競争」と「協調」の戦略の使い分けが可能となる政策・制度
- (2) 内外のあらゆる知の参画を求めるにあたり障害となる国内政策・制度の是正
- (3) 新興国等において障害となる政策・制度の是正や望ましい政策・制度の構築への協力
- (4) 各国を巻き込む魅力ある新しい枠組みの提案 を推進すべき

イノベーションの入口 ：創造力の強化

解決の
方向性 共同研究開発の促進
(特に異業種間)

- 柔軟な特許制度の設計
【協調領域に相応しいソフトIPの検討】
- 特許制度のリスク要因の是正
【職務発明制度再改定の検討】
- イノベーションに向けて知の集まる環境の整備
【出口を意識した産学官連携の推進】
- デジタル・ネットワーク社会に相応しい著作権制度の設計
【複線型の著作権法制の整備】

イノベーションの出口：実現・普及の加速

国内展開

解決の
方向性 需要の創出・誘導

- 多数参加を促進する制度の整備
【ライセンス・オブ・ライトの検討】
- ライセンスが安心できる制度の整備
【通常実施権の第三者対抗制度の改善】
- 知財が適切に保護される司法の充実
【営業秘密に関する刑事訴訟制度のあり方の検討】
- 【技術的専門性の高い法曹人材の育成】

グローバル展開

解決の
方向性 官民一体の市場開拓
国際的な調和

- グローバル市場の開拓のための取り組み
【官民一体での国際標準化の推進】
- アジア全体の発展のための取り組み
【世界共通特許制度実現に向けたアジア共通特許制度の検討】
- 知財無視の違法行為に対する取り組み
【ACTA等、模倣品・海賊版の対策】
- グローバル展開の阻害要因に対する取り組み
【行きすぎたローカル・ルールの是正】
- 知財を絡めた不適切な主張に対する取り組み
【生物多様性条約への対応】

＜民の構想による新しいスキーム＞
技術移転メカニズム(例: Green Technology Package Program)

今後の課題

- ◎民のイニシアティブによる「イノベーション立国」に向けた取り組み強化
- ◎「イノベーション・ハブ」の具体化に向けた制度設計等含めた検討